



発行者
九州旅客鉄道労働組合
中央本部筑豊支部

発行責任者 川畑 哲実
編集責任者 熊本 純

直方市山部283-1
NTT(0949)28-2334
JR(091)8223

苅田町議会議員選挙

井上修氏5期目の当選 遠田孝一氏とともに議席を死守

任期満了に伴う苅田町議会議員選挙は9月27日に投票が行われ、筑豊支部が支援した井上修氏(元ジョイロード行橋支店)が622票を獲得し、5期目の当選を果たした。

また、小倉工場支部が支援した遠田孝一氏(元小倉工場総務課)も898票を獲得、井上氏とともに2期目の当選を果たした。

選挙戦は定数16人に対し、元職1人、新人5人を含む21人が立候補。井上、遠田両氏にとっても厳しい戦いを強いられ

井上氏は4期16年の実績に加え、地域主権に相応しい公平・清潔な街づくりやJR小波瀬西工大前駅周辺事業の早期実現などを有権者に訴え、支

持を獲得。厳しい戦いを制し、見事5期目の当選を勝ち獲った。

また、遠田氏も行財政改革の推進や教育・福祉政策の実現などを訴え、井上氏とともに議席を死守した。



5期目の当選が決まり、駆け付けた多くの支援者とともに万歳三唱を行う井上氏

井上氏は「今回の選挙戦もJR九州労組の皆様が大変お世話になった。引き続き、JR九州労組が抱える政治的課題の解決やJR小波瀬西工大前駅周辺事業の早期実現に向け、全力で取り組んでいく」と述べ、5期目にあたっての決意を示した。

組合員・ご家族の皆様のご支援に御礼申し上げます。

2015年度労働協約改訂交渉妥結

JR九州労組は、9月25日に行った団体交渉で、勤務・賃金等の一部改正について会社から提案を受け、同日妥結した。なお、会社からの提案内容(概要)は以下のとおり。

- 1 特別休日等の見直し**
 - 特別休日を年間58日とする。
 - 2 半休使用事由の撤廃**
 - 半休を取得する際の使用事由を撤廃する。
 - 3 育児休職期間の延長**
 - 社員、パートナー社員及び嘱託再雇用社員(以下、「社員等」という)が育児休職を取得できる期間を、子が3才に達する日までとする。
 - 4 育児を行う社員等に係る始終業時刻の変更の適用条件の見直し**
 - 育児を行う社員等に係る始終業時刻の変更における、子に係る適用条件を小学校第3学年終了までとする。
 - 5 育児を行う社員等に係る短時間勤務の対象者の拡大**
 - 出面勤務に従事する者又は乗務割の制により勤務する列車乗務員及び動力車乗務員(予備の勤務に就く者・実務見習をする者を含む)についても、3才に満たない子を養育する社員等が子の育児を行うために申し出た場合は、1日の労働時間を6時間とする。ただし、グループ作業に従事する場合など、事業の正常な運営を妨げる場合を除く。
 - 6 休診日急患対応担当者指定料の支払対象の拡大(略)**
 - 7 育児・介護を理由に退職した社員を対象とした再雇用制度の新設**
 - 勤続3年以上の社員で、育児・介護を理由に平成28年4月1日以降退職した者のうち、退職時に、当該退職事由が消滅した場合の再雇用を希望する旨の申出があった者については、退職後10年以内に限り、選考のうえ、社員として再雇用することができる制度を新設する。なお、選考方法及び採用にあたっての労働条件等については、その都度決定する。
- ※ 実施日は6を除いて平成28年4月1日からです。

ホーム監視車上装置の実態について指摘

4両ワンマン対策会議で当面の取り組みを意思統一

今年度の主な効率化施策等で計画されている筑豊本線・篠栗線、並びに日豊本線・日南線・宮崎空港線での4両ワンマン運転の実施への対応を協議すべく、9月7日、昨年度設置された4両ワンマン対策会議が再開され、筑豊支部から杉本書記長、佐々倉書記次長、直方運輸分会から入江執行委員長、南執行委員が出席した。

今年度の主な効率化施策等で計画されている筑豊本線・篠栗線、並びに日豊本線・日南線・宮崎空港線での4両ワンマン運転の実施への対応を協議すべく、9月7日、昨年度設置された4両ワンマン対策会議が再開され、筑豊支部から杉本書記長、佐々倉書記次長、直方運輸分会から入江執行委員長、南執行委員が出席した。

経緯を振り返るとともに、当面の取り組みについて意思統一を行った。特に筑豊本線・篠栗線での4両ワンマン運転の実態については、前年度の主な効率化施策で計画されていたものの、安全性の検証に時間を要しているとの理由で実施が見送られた経緯がある。

出席者からは、ホーム監視車上装置の不具合が未だに発生している実態が報告されたほか、車内秩序の維持や、安全・安定輸送の確保、サービスの低下に対する懸念が示された。

業務速報No.521(2015年9月14日)で既報のとおり、今後「雇用の確保」を前提に「安全の確保」「サービス・労働条件の維持・向上」の基本スタンスに立脚した取り組みを展開していくこととしており、筑豊支部は、直方運輸分会との連携を強化し、中央本部に対して、当該組合員の生の声を十分に反映した対応を行うよう、働きかけを強化することとしている。

家族の幸せを災害から守る

火災共済 オプション保障(個人賠償保障)

日常の賠償事故は、誰にでも起こりうることです。

飼い犬が他人を噛んだ、マンションの階下へ水が漏れた、店の陳列品を落とした、ベランダの植木鉢が落ちて人に当たった... 毎日の生活の中に、起こりうる事故はたくさんあります。さまざまな賠償事故に備えるのが「個人賠償保障」です。

オプション保障(個人賠償責任保障)は、共済火災海上保険種を引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

みんなで暮らしをガード
交通共済(JR地域生活) 全国交通運輸労働組合共済生活協同組合

B1424401E2144-20150209